

研究課題

「透析患者におけるリナグリプチン又はテネリグリプチンからサキサグリプチンへの変更による血糖コントロールへの影響」

1. 研究の意義と目的

血液透析患者に使用可能な連日投与型 DPP-4 阻害薬として、シタグリプチン、リナグリプチン、テネリグリプチン、ビルダグリプチン、アログリプチン、アナグリプチン、サキサグリプチンがあります。これらのうち、サキサグリプチン投与に関する報告例は少ない現状です。このことから、当院におけるサキサグリプチン投与例の調査が必要と判断し、本研究を計画しました。

① 対象期間

2016年4月1日～2019年3月31日の期間にサキサグリプチンの服用が開始となった血液透析患者を対象とさせていただきます。

③ 研究方法

空腹時血糖や HbA1c、GA 等の血液検査値の確認による有効性や安全性を調査します。

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

2. 情報の保護・廃棄

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。また、研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部